

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること					
評価方式		総合・実績・事業	政策目標の達成度合い		今年度はモニタリングのみのため、5段階達成度合いは記載できない	番号	I-1-1
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額	
予算の状況	当初予算（千円）	4,335,535 <79,353,676>	21,248,068 <77,217,849>	4,851,912 <87,994,603>	38,721,757 <96,528,155>	17,528,237 <93,304,201>	
	補正予算（千円）	234,211 <23,868,996>		1,296,900 <26,681,773>			
	繰越し等（千円）	-150,000 -<12,392,873>	365,400 <21,617,257>	-1,017,993 -<22,418,976>			
	計（千円）	4,419,746 <90,829,799>	21,613,468 <101,755,365>	5,130,819 <92,257,400>			
執行額（千円）		3,095,368 <88,624,853>	20,859,729 <97,423,052>	4,237,144 <90,976,008>			
政策評価結果の概算要求への反映状況		施策目標達成の達成に向けて着実に進展しており、今後も引き続き必要な施策を実行していく。					

(注)直近の評価結果が分かる評価書又はそれに準じた評価書を添付すること。

政策評価調書（個別票2）

政策名	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること				番号	I-1-1		(千円)	
	予算科目					予算額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計	
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額		
対応表において●となっているもの	● 1	一般	厚生労働省	医療提供体制確保対策費	医療提供体制確保対策に必要な経費	12,788,906	14,386,010		
	● 2	一般	厚生労働省	医療提供体制確保対策費	医療提供体制確保対策の推進に必要な経費	2,307,057	3,142,227		
	● 3	復興特別	復興庁	社会保障等復興政策費	地域医療提供体制の再構築に必要な経費	23,625,794			
	● 4								
小計						38,721,757	17,528,237		
対応表において◆となっているもの	◆ 1								
	◆ 2								
	◆ 3								
	◆ 4								
小計									
対応表において○となっているもの	○ 1	一般	厚生労働省	医療提供体制基盤整備費	医療提供体制の改革の推進に必要な経費	< 60,243,749 >	< 60,243,749 >		
	○ 2	一般	厚生労働省	医療提供体制基盤整備費	医療提供体制の基盤整備に必要な経費	< 36,284,406 >	< 33,060,452 >		
	○ 3					< >	< >		
	○ 4					< >	< >		
小計						<96,528,155> の内数	<93,304,201> の内数		
対応表において△となっているもの	△ 1					< >	< >		
	△ 2					< >	< >		
	△ 3					< >	< >		
	△ 4					< >	< >		
小計									
合計						38,721,757	17,528,237		
						<96,528,155> の内数	<93,304,201> の内数		

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名	効率的かつ質の高い医療を提供するために病床機能の分化・連携を推進するとともに、在宅医療・介護連携を図り、地域包括ケアシステムを構築すること				
評価方式	総合・実績・事業	政策目標の達成度合い	今年度はモニタリングのみのため、5段階達成度合いは記載できない	番号	I-1-2
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額
予算の状況	当初予算（千円）				
	<156,265,483>	<214,890,344>	<201,829,340>	<278,646,495>	<276,165,044>
	補正予算（千円）				
	<33,240,676>	<114,252,720>	<36,958,299>		
	繰越し等（千円）				
	<14,338,900>	<170,058>	-<3,297,059>		
	計（千円）				
	<203,845,059>	<329,313,122>	<235,490,580>		
	執行額（千円）				
	<191,215,048>	<312,690,540>	<219,883,143>		
政策評価結果の概算要求への反映状況	目標の達成に向けて進展しており、引き続き目標達成のために必要な予算要求を行うこととした。				

(注)直近の評価結果が分かる評価書又はそれに準じた評価書を添付すること。

政策評価調書（個別票2）

政策名	効率的かつ質の高い医療を提供するために病床機能の分化・連携を推進するとともに、在宅医療・介護連携を図り、地域包括ケアシステムを構築すること					番号	I-1-2		(千円)
	予算科目					予算額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計	
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額		
対応表において●となっているもの	● 1								
	● 2								
	● 3								
	● 4								
	小計								
対応表において◆となっているもの	◆ 1								
	◆ 2								
	◆ 3								
	◆ 4								
	小計								
対応表において○となっているもの	○ 1	一般	厚生労働本省	医療提供体制基盤整備費	医療提供体制の改革の推進に必要な経費	< 60,243,749 >	< 60,243,749 >		
	○ 2	一般	厚生労働本省	医療提供体制基盤整備費	医療提供体制の基盤整備に必要な経費	< 36,284,406 >	< 33,060,452 >		
	○ 3	一般	厚生労働本省	高齢者日常生活支援等推進費	地域支援事業に必要な経費	< 156,930,083 >	< 156,930,083 >		
	○ 4	一般	厚生労働本省	介護保険制度運営推進費	介護保険制度の適切な運営等に必要な経費	< 25,188,257 >	< 25,930,760 >		
	小計					<278,646,495> の内数	<276,165,044> の内数		
対応表において◇となっているもの	◇ 1					< >	< >		
	◇ 2					< >	< >		
	◇ 3					< >	< >		
	◇ 4					< >	< >		
	小計								
合計						<278,646,495> の内数	<276,165,044> の内数		

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		今後の医療需要に見合った医療従事者の確保を図ること					
評価方式		総合・実績・事業	政策目標の達成度合い		今年度はモニタリングのみのため、5段階達成度合いは記載できない	番号	I-2-1
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額	
予算の状況	当初予算（千円）	1,101,620 <79,755,036>	1,023,159 <77,649,860>	1,194,094 <88,446,912>	1,266,203 <97,228,934>	1,080,419 <93,822,177>	
	補正予算（千円）	-585 <23,868,996>	-446 <2,920,259>	-17 <26,681,773>			
	繰越し等（千円）	-<12,392,873>	<21,617,257>	-<22,418,976>			
	計（千円）	1,101,035 <91,231,159>	1,022,713 <102,187,376>	1,194,077 <92,709,709>			
執行額（千円）		1,049,188 <89,022,863>	977,096 <97,852,898>	1,115,319 <91,418,857>			
政策評価結果の概算要求への反映状況		政策目標の達成に向けて進展しており、今後も医師、看護師等の不足した状況に対応するため、引き続き医師確保や女性医師、看護師等の離職防止、復職支援の強化を進めるべく必要な予算要求を行うこととした。					

(注)直近の評価結果が分かる評価書又はそれに準じた評価書を添付すること。

政策評価調書（個別票2）

政策名	今後の医療需要に見合った医療従事者の確保を図ること					番号	1-2-1		(千円)					
	予算科目					予算額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計						
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額							
対応表において●となっているもの	● 1	一般	厚生労働本省	医療従事者等確保対策費	医療従事者等の確保対策に必要な経費	1,266,203	1,080,419							
	● 2													
	● 3													
	● 4													
	小計					1,266,203	1,080,419							
対応表において◆となっているもの	◆ 1													
	◆ 2													
	◆ 3													
	◆ 4													
	小計													
対応表において○となっているもの	○ 1	一般	厚生労働本省	医療提供体制基盤整備費	医療提供体制の改革の推進に必要な経費	< 60,243,749 >	< 60,243,749 >							
	○ 2	一般	厚生労働本省	医療提供体制基盤整備費	医療提供体制の基盤整備に必要な経費	< 36,284,406 >	< 33,060,452 >							
	○ 3	一般	地方厚生局	医師等国家試験実施費	医師等国家試験実施に必要な経費	< 700,779 >	< 517,976 >							
	○ 4					< >	< >							
	小計					<97,228,934> の内数	<93,822,177> の内数							
対応表において△となっているもの	△ 1					< >	< >							
	△ 2					< >	< >							
	△ 3					< >	< >							
	△ 4					< >	< >							
	小計													
合計						1,266,203	1,080,419							
						<97,228,934> の内数	<93,822,177> の内数							

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		医療従事者の資質の向上を図ること					
評価方式		総合・実績・事業	政策目標の達成度合い		今年度はモニタリングのみのため、5段階達成度合いは記載できない	番号	I-2-2
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額	
予算の状況	当初予算（千円）	12,661,497 <79,353,676>	11,050,800 <77,217,849>	10,217,237 <87,994,603>	1,170,236 <96,528,155>	1,143,516 <93,304,201>	
	補正予算（千円）						
	繰越し等（千円）						
	計（千円）	12,661,497 <90,829,799>	11,050,800 <101,755,365>	10,217,237 <92,257,400>			
執行額（千円）		12,461,812 <88,624,853>	10,850,671 <97,423,052>	9,807,028 <90,976,008>			
政策評価結果の概算要求への反映状況		臨床研修をはじめ、医療従事者の資質の向上は順調に実施されているところであります、引き続き、政策目標の達成に向けて現在の取組を進めていくため、必要な予算要求を行うこととした。					

(注)直近の評価結果が分かる評価書又はそれに準じた評価書を添付すること。

政策評価調書（個別票2）

政策名	医療従事者の資質の向上を図ること					番号	I-2-2		(千円)					
	予算科目					予算額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計						
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額							
対応表において●となっているもの	● 1	一般	厚生労働本省	医療従事者資質向上対策費	医療従事者の資質向上に必要な経費	1,170,236	1,143,516							
	● 2													
	● 3													
	● 4													
	小計					1,170,236	1,143,516							
対応表において◆となっているもの	◆ 1													
	◆ 2													
	◆ 3													
	◆ 4													
	小計													
対応表において○となっているもの	○ 1	一般	厚生労働本省	医療提供体制基盤整備費	医療提供体制の改革の推進に必要な経費	< 60,243,749 >	< 60,243,749 >							
	○ 2	一般	厚生労働本省	医療提供体制基盤整備費	医療提供体制の基盤整備に必要な経費	< 36,284,406 >	< 33,060,452 >							
	○ 3					< >	< >							
	○ 4					< >	< >							
	小計					<96,528,155> の内数	<93,304,201> の内数							
対応表において△となっているもの	△ 1					< >	< >							
	△ 2					< >	< >							
	△ 3					< >	< >							
	△ 4					< >	< >							
	小計													
合計						1,170,236	1,143,516							
						<96,528,155> の内数	<93,304,201> の内数							

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		医療情報化の体制整備の普及を推進すること					
評価方式		総合・実績・事業	政策目標の達成度合い		今年度はモニタリングのみのため、5段階達成度合いは記載できない	番号	I-3-1
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額	
予算の状況	当初予算（千円）	814,642 <79,353,676>	603,522 <77,217,849>	524,502 <87,994,603>	516,562 <96,528,155>	1,096,975 <93,304,201>	
	補正予算（千円）	1,297,557 <23,868,996>		254,813 <26,681,773>			
	繰越し等（千円）	-1,163,054 -<12,392,873>	1,297,557 <21,617,257>	-254,813 -<22,418,976>			
	計（千円）	949,145 <90,829,799>	1,901,079 <101,755,365>	524,502 <92,257,400>			
執行額（千円）		889,423 <88,624,853>	1,602,117 <97,423,052>	488,376 <90,976,008>			
政策評価結果の概算要求への反映状況		政策として推進すべき事業については重点的に予算要求を行い、縮減可能な事業については経費の見直しを行うなど、各事業の内容を精査した上で概算要求を行っている。					

(注)直近の評価結果が分かる評価書又はそれに準じた評価書を添付すること。

政策評価調書（個別票2）

政策名	医療情報化の体制整備の普及を推進すること					番号	I-3-1		(千円)					
	予算科目					予算額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計						
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額							
対応表において●となっているもの	● 1	一般	厚生労働本省	医療情報化等推進費	医療情報化等の推進に必要な経費	516,562	1,096,975							
	● 2													
	● 3													
	● 4													
	小計					516,562	1,096,975							
対応表において◆となっているもの	◆ 1													
	◆ 2													
	◆ 3													
	◆ 4													
	小計													
対応表において○となっているもの	○ 1	一般	厚生労働本省	医療提供体制基盤整備費	医療提供体制の改革の推進に必要な経費	< 60,243,749 >	< 60,243,749 >							
	○ 2	一般	厚生労働本省	医療提供体制基盤整備費	医療提供体制の基盤整備に必要な経費	< 36,284,406 >	< 33,060,452 >							
	○ 3					< >	< >							
	○ 4					< >	< >							
	小計					<96,528,155> の内数	<93,304,201> の内数							
対応表において△となっているもの	△ 1					< >	< >							
	△ 2					< >	< >							
	△ 3					< >	< >							
	△ 4					< >	< >							
	小計					の内数	の内数							
合計						516,562	1,096,975							
						<96,528,155> の内数	<93,304,201> の内数							

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		医療安全確保対策の推進を図ること					
評価方式		総合・実績・事業	政策目標の達成度合い		今年度はモニタリングのみのため、5段階達成度合いは記載できない	番号	I-3-2
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額	
予算の状況	当初予算（千円）	529,709 <79,353,676>	956,697 <77,217,849>	1,260,217 <87,994,603>	1,217,672 <96,528,155>	1,496,459 <93,304,201>	
	補正予算（千円）						
	繰越し等（千円）						
	計（千円）	529,709 <90,829,799>	956,697 <101,755,365>	1,260,217 <92,257,400>			
執行額（千円）		436,735 <88,624,853>	870,286 <97,423,052>	1,187,382 <90,976,008>			
政策評価結果の概算要求への反映状況		政策として推進すべき事業については重点的に予算要求を行い、縮減可能な事業については経費の見直しを行うなど、各事業の内容を精査した上で概算要求を行っている。					

(注)直近の評価結果が分かる評価書又はそれに準じた評価書を添付すること。

政策評価調書（個別票2）

政策名	医療安全確保対策の推進を図ること					番号	I-3-2		(千円)					
	予算科目					予算額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計						
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額							
対応表において●となっているもの	● 1	一般	厚生労働本省	医療安全確保推進費	医療安全確保対策に必要な経費	1,012,217	1,092,812							
	● 2	一般	厚生労働本省	医療安全確保推進費	医療安全確保の推進に必要な経費	205,455	403,647							
	● 3													
	● 4													
	小計					1,217,672	1,496,459							
対応表において◆となっているもの	◆ 1													
	◆ 2													
	◆ 3													
	◆ 4													
	小計													
対応表において○となっているもの	○ 1	一般	厚生労働本省	医療提供体制基盤整備費	医療提供体制の改革の推進に必要な経費	< 60,243,749 >	< 60,243,749 >							
	○ 2	一般	厚生労働本省	医療提供体制基盤整備費	医療提供体制の基盤整備に必要な経費	< 36,284,406 >	< 33,060,452 >							
	○ 3					< >	< >							
	○ 4					< >	< >							
	小計					<96,528,155> の内数	<93,304,201> の内数							
対応表において△となっているもの	△ 1					< >	< >							
	△ 2					< >	< >							
	△ 3					< >	< >							
	△ 4					< >	< >							
	小計													
合計						1,217,672	1,496,459							
						<96,528,155> の内数	<93,304,201> の内数							

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		政策医療を向上・均てん化させること					
評価方式		総合・実績・事業	政策目標の達成度合い		今年度はモニタリングのみのため、5段階達成度合いは記載できない	番号	I-4-1
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額	
予算の状況	当初予算（千円）	49,044,122	43,188,369	41,704,784	41,777,614	47,214,152	
	補正予算（千円）						
	繰越し等（千円）	583,551		-104,814			
	計（千円）	49,627,673	43,188,369	41,599,970			
執行額（千円）		49,610,347	43,058,721	41,599,780			
政策評価結果の概算要求への反映状況		目標の達成に向けて進展しており、引き続き目標達成のために必要な予算要求を行うこととした。					

(注)直近の評価結果が分かる評価書又はそれに準じた評価書を添付すること。

政策評価調書（個別票2）

政策名	政策医療を向上・均てん化させること				番号	I-4-1		(千円)
	予算科目					予算額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額	
対応表において●となっているもの								
対応表において◆となっているもの	小計							
	◆ 1	一般	厚生労働本省	独立行政法人国立病院機構運営費	独立行政法人国立病院機構運営費交付金に必要な経費	14,450,916	16,681,013	
	◆ 2	一般	厚生労働本省	国立研究開発法人国立がん研究センター運営費	国立研究開発法人国立がん研究センター運営費交付金に必要な経費	6,269,471	7,224,750	
	◆ 3	一般	厚生労働本省	国立研究開発法人国立循環器病研究センター運営費	国立研究開発法人国立循環器病研究センター運営費交付金に必要な経費	4,250,986	4,891,707	
	◆ 4	一般	厚生労働本省	国立研究開発法人国立循環器病研究センター施設整備費	国立研究開発法人国立循環器病研究センター施設整備費に必要な経費	718,230	1,000,500	
	◆ 5	一般	厚生労働本省	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター運営費	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター運営費交付金に必要な経費	3,839,399	3,916,146	
	◆ 6	一般	厚生労働本省	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター施設整備費	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター施設整備費に必要な経費	98,070	504,915	
	◆ 7	一般	厚生労働本省	国立研究開発法人国立国際医療研究センター運営費	国立研究開発法人国立国際医療研究センター運営費交付金に必要な経費	5,815,202	5,822,900	
	◆ 8	一般	厚生労働本省	国立研究開発法人国立国際医療研究センター施設整備費	国立研究開発法人国立国際医療研究センター施設整備費に必要な経費		108,625	
	◆ 9	一般	厚生労働本省	国立研究開発法人国立成育医療研究センター運営費	国立研究開発法人国立成育医療研究センター運営費交付金に必要な経費	3,349,335	3,640,185	
	◆ 10	一般	厚生労働本省	国立研究開発法人国立成育医療研究センター施設整備費	国立研究開発法人国立成育医療研究センター施設整備費に必要な経費		119,340	
	◆ 11	一般	厚生労働本省	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター運営費	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター運営費交付金に必要な経費	2,801,805	3,014,801	
	◆ 12	一般	厚生労働本省	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター施設整備費	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター施設整備費に必要な経費	184,200	289,270	
小計						41,777,614	47,214,152	
対応表において○となっているもの						<	>	
	小計							
対応表において△となっているもの						<	>	
	小計							
合計						41,777,614	47,214,152	
						の内数	の内数	

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		感染症の発生・まん延の防止を図ること					
評価方式		総合(実績・事業)	政策目標の達成度合い		目標達成	番号	I-5-1
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額	
予算の状況	当初予算(千円)	79,132,411 <1,614,231>	78,909,446 <6,437,560>	83,349,057 <15,285,784>	79,912,669 <18,993,535>	94,100,602 <58,868,087>	
	補正予算(千円)	63,436,372 <22,114,663>	36,250,506 <25,030,097>	47,397,867 <19,686,497>	0 <0>		
	繰越し等(千円)	-1,939,576 -<22,008,013>	3,281,876 -<4,271,873>	4,498,706 <3,328,536>			
	計(千円)	140,629,207 <1,720,881>	118,441,828 <27,195,784>	135,245,630 <38,300,817>			
執行額(千円)		137,811,459 <1,328,112>	117,016,197 <26,918,942>	132,091,281 <37,559,872>			
政策評価結果の概算要求への反映状況		引き続き、感染症対策の充実や予防接種の推進等により、感染症の発生の予防・まん延の防止を図るため、必要な予算の確保に努めることとした。					

(注)直近の評価結果が分かる評価書又はそれに準じた評価書を添付すること。

政策評価調書（個別票2）

政策名	感染症の発生・まん延の防止を図ること					番号	I-5-1		(千円)					
	予算科目					予算額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計						
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額							
対応表において●となっているもの	● 1	一般	厚生労働本省	感染症対策費	感染症医療に必要な経費	3,522,664	3,604,130							
	● 2	一般	厚生労働本省	感染症対策費	感染症予防事業等に必要な経費	15,582,460	30,219,660							
	● 3	一般	厚生労働本省	感染症対策費	結核に関する試験研究に必要な経費	420,717	420,717							
	● 4	一般	厚生労働本省	感染症対策費	感染症の発生・まん延防止対策に必要な経費	2,455,027	1,609,399							
	● 5	一般	厚生労働本省	感染症対策費	特定B型肝炎ウイルス感染者に対する給付金等の支給に必要な経費	57,200,000	57,200,000							
	● 6	一般	検疫所	検疫業務等実施費	検疫業務等に必要な経費	731,801	1,046,696							
	小計					79,912,669	94,100,602							
対応表において◆となっているもの	◆ 1													
	◆ 2													
	小計													
対応表において○となっているもの	○ 1	一般	厚生労働本省	生活基盤施設耐震化等対策費	生活基盤施設の耐震化等対策に必要な経費	< 16,900,000 >	< 56,639,764 >							
	○ 2	一般	厚生労働本省	保健衛生施設整備費	保健衛生施設等施設整備に必要な経費	< 1,669,000 >	< 1,969,000 >							
	○ 3	東日本大震災復興特別	復興庁	社会保障等復興事業費	保健衛生施設等施設整備に必要な経費	< 424,535 >	< 259,323 >							
	○ 4													
	小計					<18,993,535> の内数	<58,868,087> の内数							
対応表において△となっているもの	△ 1													
	△ 2													
	小計													
合計						79,912,669	94,100,602							
						<18,993,535> の内数	<58,868,087> の内数							

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		難病等の予防・治療等を充実させること					
評価方式		総合・実績・事業	政策目標の達成度合い		今年度はモニタリングのみのため、5段階達成度合いは記載できない	番号	I-5-2
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額	
予算の状況	当初予算（千円）	76,747,653 <1,614,231>	144,512,911 <6,437,560>	148,479,068 <15,285,784>	150,187,098 <18,993,535>	141,837,262 <58,868,087>	
	補正予算（千円）	0 <22,114,663>	0 <25,030,097>	0 <19,686,497>			
	繰越し等（千円）	514,778 -<22,008,013>	-71,310 -<4,271,873>	43,310 <3,328,536>			
	計（千円）	77,262,431 <1,720,881>	144,441,601 <27,195,784>	148,522,378 <38,300,817>			
執行額（千円）		74,371,224 <1,328,112>	99,314,119 <26,918,942>	101,475,599 <37,559,872>			
政策評価結果の概算要求への反映状況		引き続き、治療方法が確立していない特殊な疾病等の予防・治療等を充実させるため、必要な予算の確保に努めることとした。					

(注)直近の評価結果が分かる評価書又はそれに準じた評価書を添付すること。

政策評価調書（個別票2）

政策名	難病等の予防・治療等を充実させること				番号	I-5-2		(千円)
	予算科目					予算額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額	
対応表において●となっているもの	● 1	一般	厚生労働本省	特定疾患等対策費	難病医療等に必要な経費	132,862,432	123,129,668	
	● 2	一般	厚生労働本省	特定疾患等対策費	小児慢性特定疾病対策に必要な経費	209,360	254,472	
	● 3	一般	厚生労働本省	特定疾患等対策費	特定疾患等対策に必要な経費	4,937,785	5,608,726	
	● 4	一般	厚生労働本省	特定疾患等対策費	特定疾患の治療研究に必要な経費	769,189	2,001,292	
	● 5	一般	厚生労働本省	特定疾患等対策費	特定疾患等の予防・治療等の充実に必要な経費	1,076,915	353,064	
	● 6	一般	厚生労働本省	ハンセン病資料館施設費	ハンセン病資料館施設整備に必要な経費		92,560	
	● 7	一般	国立ハンセン病療養所	国立ハンセン病療養所運営費	国立ハンセン病療養所の運営に必要な経費	10,331,417	10,397,480	
	小計					150,187,098	141,837,262	
対応表において◆となっているもの	◆ 1							
	◆ 2							
	◆ 3							
	◆ 4							
	小計							
対応表において○となっているもの	○ 1	一般	厚生労働本省	保健衛生施設整備費	保健衛生施設等施設整備に必要な経費	< 1,669,000 >	< 1,969,000 >	
	○ 2	一般	厚生労働本省	生活基盤施設耐震化等対策費	生活基盤施設の耐震化等対策に必要な経費	< 16,900,000 >	< 56,639,764 >	
	○ 3	東日本大震災復興特別	復興庁	社会保障等復興事業費	保健衛生施設等施設整備に必要な経費	< 424,535 >	< 259,323 >	
	小計					<18,993,535> の内数	<58,868,087> の内数	
対応表において△となっているもの								
合計						150,187,098	141,837,262	
						<18,993,535> の内数	<58,868,087> の内数	

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		適正な移植医療を推進すること					
評価方式		総合・実績・事業	政策目標の達成度合い		今年度はモニタリングのみのため、5段階達成度合いは記載できない	番号	I-5-3
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額	
予算の状況	当初予算（千円）	2,628,512	2,694,236	3,080,410	2,893,555	2,938,891	
		<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	
	補正予算（千円）	532,275	0	0			
		<0>	<0>	<0>			
繰越し等（千円）	繰越し等（千円）	-532,275	532,275	0			
		<0>	<0>	<0>			
	計（千円）	2,628,512	3,226,511	3,080,410			
		<0>	<0>	<0>			
執行額（千円）		2,553,361	3,140,073	3,034,447			
		<0>	<0>	<0>			
政策評価結果の概算要求への反映状況		<p>評価結果を踏まえ、今後も適正な移植医療を推進するため、必要な予算の確保に努めることとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臓器移植対策事業費【平成30年度予算概算要求：612,577千円（平成29年度予算額：599,997千円）】 ・骨髄移植対策事業費等【平成30年度予算概算要求：2,295,403千円（平成29年度予算額：2,262,974千円）】 ・移植対策費【平成30年度予算概算要求：30,911千円（平成29年度予算額：30,584千円）】 					

（注）直近の評価結果が分かる評価書又はそれに準じた評価書を添付すること。

政策評価調書（個別票2）

政策名	適正な移植医療を推進すること					番号	I-5-3	
	予算科目					予算額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計 (千円)
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額	
対応表において●となっているもの	● 1	一般	厚生労働省	移植医療推進費	移植医療推進事業に必要な経費	2,862,971	2,907,980	
	● 2	一般	厚生労働省	移植医療推進費	移植医療の推進に必要な経費	30,584	30,911	
	● 3							
	● 4							
小計						2,893,555	2,938,891	
対応表において◆となっているもの	◆ 1							
	◆ 2							
	◆ 3							
	◆ 4							
小計								
対応表において○となっているもの	○ 1							
	○ 2							
	○ 3							
	○ 4							
対応表において△となっているもの	△ 1							
	△ 2							
	△ 3							
	△ 4							
小計								
合計						2,893,555	2,938,891	

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		原子爆弾被爆者等を援護すること					
評価方式		総合・実績・事業	政策目標の達成度合い		今年度はモニタリングのみのため、5段階達成度合いは記載できない	番号	I-5-4
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額	
予算の状況	当初予算（千円）	144,911,471 <883,000>	139,982,728 <6,383,000>	135,517,931 <15,019,000>	132,400,657 <18,569,000>	130,430,851 <58,608,764>	
	補正予算（千円）	28,567 <22,114,663>	26,240 <25,030,097>	0 <19,686,497>	0 <0>		
	繰越し等（千円）	412,839 -<21,845,509>	1,032,059 -<4,379,817>	0 <3,273,976>			
	計（千円）	145,352,877 <1,152,154>	141,041,027 <27,033,281>	135,517,931 <37,979,473>			
執行額（千円）		130,024,164 <1,111,433>	126,581,723 <26,756,438>	121,515,379 <37,508,778>			
政策評価結果の概算要求への反映状況		評価結果を踏まえ、今後も被爆者に対する保健、医療、福祉にわたる総合的な施策を推進するため、必要な予算の確保に努めることとした。 原爆被爆者等援護対策費（平成30年度概算要求額：130,430,851千円〔平成29年度予算額：132,400,657千円〕）					

(注)直近の評価結果が分かる評価書又はそれに準じた評価書を添付すること。

政策評価調書（個別票2）

政策名	原子爆弾被爆者等を援護すること				番号	I-5-4		(千円)					
	予算科目					予算額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計					
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額						
対応表において●となっているもの	● 1	一般	厚生労働本省	原爆被爆者等援護対策費	原爆被爆者の医療に必要な経費	30,384,694	28,516,246						
	● 2	一般	厚生労働本省	原爆被爆者等援護対策費	原爆被爆者の老人保健事業等に必要な経費	563,233	563,233						
	● 3	一般	厚生労働本省	原爆被爆者等援護対策費	原爆被爆者の援護対策事業に必要な経費	98,974,443	98,920,124						
	● 4	一般	厚生労働本省	原爆被爆者等援護対策費	原爆放射線の医学的影響の調査研究に必要な経費	1,878,908	1,852,654						
	● 5	一般	厚生労働本省	原爆被爆者等援護対策費	原爆被爆者等の援護に必要な経費	599,379	578,594						
	小計					132,400,657	130,430,851						
対応表において◆となっているもの	◆ 1												
	◆ 2												
	◆ 3												
	◆ 4												
	小計												
対応表において○となっているもの	○ 1	一般	厚生労働本省	保健衛生施設整備費	保健衛生施設等施設整備に必要な経費	< 1,669,000 >	< 1,969,000 >						
	○ 2	一般	厚生労働本省	生活基盤施設耐震化等対策費	生活基盤施設の耐震化等対策に必要な経費	< 16,900,000 >	< 56,639,764 >						
	○ 3					< >	< >						
	○ 4					< >	< >						
	小計					<18,569,000> の内数	<58,608,764> の内数						
対応表において△となっているもの	△ 1												
	△ 2												
	△ 3												
	△ 4												
	小計												
合計						132,400,657	130,430,851						
						<18,569,000> の内数	<58,608,764> の内数						

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		有効性・安全性の高い新医薬品等を迅速に提供できるようにすること				
評価方式		総合(実績・事業)	政策目標の達成度合い		目標超過達成	番号
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額
予算の状況	当初予算(千円)	1,854,332 <1,280,986>	1,618,260 <1,268,297>	1,567,731 <1,440,780>	924,088 <1,963,292>	1,194,180 <2,157,129>
	補正予算(千円)					
	繰越し等(千円)					
	計(千円)	1,854,332 <1,280,986>	1,618,260 <1,268,297>	1,567,731 <1,440,780>		
執行額(千円)		1,694,388 <1,280,986>	1,484,259 <1,268,297>	1,425,655 <1,440,780>		
政策評価結果の概算要求への反映状況		評価結果を踏まえ、より一層の新医薬品・医療機器の総審査期間の短縮及びドラッグ・ラグ、デバイス・ラグの解消を図るため、引き続き必要な予算を適切に要求することとする。				

(注)直近の評価結果が分かる評価書又はそれに準じた評価書を添付すること。

政策評価調書（個別票2）

政策名	有効性・安全性の高い新医薬品等を迅速に提供できること					番号	1-6-1		(千円)					
	予算科目					予算額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計						
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額							
対応表において●となっているもの	● 1	一般	厚生労働省	医薬品承認審査等推進費	医薬品の承認審査等の推進に必要な経費	924,088	1,194,180							
	● 2													
	● 3													
	● 4													
	小計					924,088	1,194,180							
対応表において◆となっているもの	◆ 1													
	◆ 2													
	◆ 3													
	◆ 4													
	小計													
対応表において○となっているもの	○ 1					<	>	<	>					
	○ 2					<	>	<	>					
	○ 3					<	>	<	>					
	○ 4					<	>	<	>					
	小計													
対応表において◇となっているもの	◇ 1	一般	厚生労働省	独立行政法人医薬品医療機器総合機構運営費	独立行政法人医薬品医療機器総合機構運営費交付金に必要な経費	< 1,963,292 >	< 2,157,129 >							
	◇ 2					<	>	<	>					
	◇ 3					<	>	<	>					
	◇ 4					<	>	<	>					
	小計					<1,963,292> の内数	<2,157,129> の内数							
合計						924,088	1,194,180							
						<1,963,292> の内数	<2,157,129> の内数							

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		医薬品等の品質確保の徹底を図るとともに、医薬品等の安全対策等を推進すること					
評価方式		総合・実績・事業	政策目標の達成度合い		今年度はモニタリングのみのため、5段階達成度合いは記載できない	番号	I-6-2
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額	
予算の状況	当初予算（千円）	2,405,622 <1,280,986>	2,370,299 <1,268,297>	2,531,259 <1,440,780>	2,924,702 <1,963,292>	3,218,893 <2,157,129>	
	補正予算（千円）	55,951					
	繰越し等（千円）	227,190	55,951				
	計（千円）	2,688,763 <1,280,986>	2,426,250 <1,268,297>	2,531,259 <1,440,780>			
執行額（千円）		2,154,657 <1,280,986>	1,851,591 <1,268,297>	1,952,351 <1,440,780>			
政策評価結果の概算要求への反映状況		事前評価分析表に基づき、引き続き必要な予算を適切に要求することとする。					

(注)直近の評価結果が分かる評価書又はそれに準じた評価書を添付すること。

政策評価調書（個別票2）

政策名	医薬品等の品質確保の徹底を図るとともに、医薬品等の安全対策等を推進すること				番号	I-6-2		(千円)
	予算科目					予算額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額	
対応表において●となっているもの	● 1	一般	厚生労働省	医薬品安全対策等推進費	重症スモン患者介護事業に必要な経費	63,599	56,016	
	● 2	一般	厚生労働省	医薬品安全対策等推進費	医薬品の安全対策等の推進に必要な経費	2,403,973	2,705,823	
	● 3							
	● 4							
小計						2,467,572	2,761,839	
対応表において◆となっているもの	◆ 1	一般	厚生労働省試験研究機関	血清等製造及検定費	医薬品等の国家検定及び検査等に必要な経費	10,715	10,715	
	◆ 2	一般	厚生労働省試験研究機関	血清等製造及検定費	血清その他の製造及び検定に必要な経費	446,415	446,339	
	◆ 3							
	◆ 4							
小計						457,130	457,054	
対応表において○となっているもの	○ 1					<	>	<
	○ 2					<	>	<
	○ 3					<	>	<
	○ 4					<	>	<
小計								
対応表において◇となっているもの	◇ 1	一般	厚生労働省	独立行政法人医薬品医療機器総合機構運営費	独立行政法人医薬品医療機器総合機構運営費交付金に必要な経費	< 1,963,292 >	< 2,157,129 >	
	◇ 2					<	>	<
	◇ 3					<	>	<
	◇ 4					<	>	<
小計						<1,963,292> の内数	<2,157,129> の内数	
合計						2,924,702	3,218,893	
						<1,963,292> の内数	<2,157,129> の内数	

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		医薬品の適正使用を推進すること					
評価方式		総合・実績・事業	政策目標の達成度合い		今年度はモニタリングのみのため、5段階達成度合いは記載できない	番号	I-6-3
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額	
予算の状況	当初予算（千円）	321,563	307,487	255,199	258,938	314,309	
	補正予算（千円）						
	繰越し等（千円）						
	計（千円）	321,563	307,487	255,199	<0>		
執行額（千円）		294,000	279,668	245,173	<0>		
政策評価結果の概算要求への反映状況		評価結果を踏まえ、医薬品の適正使用を推進するために、引き続き必要な経費を適切に要求している。					

(注)直近の評価結果が分かる評価書又はそれに準じた評価書を添付すること。

政策評価調書（個別票2）

政策名	医薬品の適正使用を推進すること					番号	I-6-3		(千円)
	予算科目					予算額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計	
整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額			
対応表において●となっているもの	● 1	一般	厚生労働省	医薬品適正使用推進費	医薬品の適正使用の推進に必要な経費	258,938	314,309		
	● 2								
	● 3								
	● 4								
	小計					258,938	314,309		
対応表において◆となっているもの	◆ 1								
	◆ 2								
	◆ 3								
	◆ 4								
	小計								
対応表において○となっているもの	○ 1					<	>	<	>
	○ 2					<	>	<	>
	○ 3					<	>	<	>
	○ 4					<	>	<	>
	小計								
対応表において△となっているもの	△ 1					<	>	<	>
	△ 2					<	>	<	>
	△ 3					<	>	<	>
	△ 4					<	>	<	>
	小計								
合計						258,938	314,309		

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		健康な献血者の確保を図り、血液製剤の国内自給、使用適正化を推進し、安全性の向上を図ること					
評価方式		総合・実績・事業	政策目標の達成度合い		今年度はモニタリングのみのため、5段階達成度合いは記載できない	番号	I-7-1
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額	
予算の状況	当初予算（千円）	614,785	622,163	609,964	591,932		606,642
	補正予算（千円）						
	繰越し等（千円）						
	計（千円）	614,785	622,163	609,964	<0>		
執行額（千円）		573,013	570,969	584,331			
政策評価結果の概算要求への反映状況		評価結果を踏まえ、政策目標の達成に向け、平成30年度も引き続き必要な予算を適切に要求することとした。					

(注)直近の評価結果が分かる評価書又はそれに準じた評価書を添付すること。

政策評価調書（個別票2）

政策名	健康な献血者の確保を図り、血液製剤の国内自給、使用適正化を推進し、安全性の向上を図ること					番号	I-7-1		(千円)
	予算科目					予算額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計	
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額		
対応表において●となっているもの	● 1	一般	厚生労働省	血液製剤対策費	血液製剤対策に必要な経費	490,292	486,839		
	● 2	一般	厚生労働省	血液製剤対策費	血液製剤対策の推進に必要な経費	101,640	119,803		
	● 3								
	● 4								
小計						591,932	606,642		
対応表において◆となっているもの	◆ 1								
	◆ 2								
	◆ 3								
	◆ 4								
小計									
対応表において○となっているもの	○ 1					<	>	<	>
	○ 2					<	>	<	>
	○ 3					<	>	<	>
	○ 4					<	>	<	>
小計									
対応表において△となっているもの	△ 1					<	>	<	>
	△ 2					<	>	<	>
	△ 3					<	>	<	>
	△ 4					<	>	<	>
小計									
合計						591,932	606,642		

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		革新的な医療技術の実用化を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること					
評価方式		総合・実績・事業	政策目標の達成度合い		今年度はモニタリングのみのため、5段階達成度合いは記載できない	番号	I-8-1
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額	
予算の状況	当初予算（千円）	4,842,184 <80,634,662>	692,463 <78,486,146>	742,078 <89,435,383>	1,033,727 <98,491,447>	1,622,810 <95,461,330>	
	補正予算（千円）	2,620,042 <23,868,996>					
	繰越し等（千円）	193,682 -<12,392,873>	2,620,042 <21,617,257>		-<22,418,976>		
	計（千円）	7,655,908 <92,110,785>	3,312,505 <103,023,662>	742,078 <93,698,180>			
執行額（千円）		6,798,469 <89,905,839>	3,123,008 <98,691,349>	525,437 <92,416,788>			
政策評価結果の概算要求への反映状況		政策として推進すべき事業については重点的に予算要求を行い、必要性がなくなった事業については廃止する、縮減可能な事業については見直しを行うなど、各事業の内容を精査した上で概算要求を行っている。					

(注)直近の評価結果が分かる評価書又はそれに準じた評価書を添付すること。

政策評価調書（個別票2）

政策名	革新的な医療技術の実用化を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること				番号	I-8-1		(千円)
	予算科目					予算額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額	
対応表において●となっているもの	● 1	一般	厚生労働省	医療技術実用化等推進費	医療技術実用化等の推進に必要な経費	1,033,727	1,622,810	
	● 2	一般	厚生労働省	医療提供体制基盤整備費	医療提供体制の改革の推進に必要な経費	< 60,243,749 >	< 60,243,749 >	
	● 3	一般	厚生労働省	医療提供体制基盤整備費	医療提供体制の基盤整備に必要な経費	< 36,284,406 >	< 33,060,452 >	
	● 4							
	小計					1,033,727 <96,528,155> の内数	1,622,810 <93,304,201> の内数	
対応表において◆となっているもの	◆ 1	一般	厚生労働省	独立行政法人医薬品医療機器総合機構運営費	独立行政法人医薬品医療機器総合機構運営費交付金に必要な経費	< 1,963,292 >	< 2,157,129 >	
	◆ 2							
	◆ 3							
	◆ 4							
	小計					<1,963,292> の内数	<2,157,129> の内数	
対応表において○となっているもの	○ 1					< >	< >	
	○ 2					< >	< >	
	○ 3					< >	< >	
	○ 4					< >	< >	
	小計							
対応表において◇となっているもの	◇ 1					< >	< >	
	◇ 2					< >	< >	
	◇ 3					< >	< >	
	◇ 4					< >	< >	
	小計							
合計						1,033,727 <98,491,447> の内数	1,622,810 <95,461,330> の内数	

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		データヘルスの推進による保険者機能の強化等により適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること					
評価方式		総合・実績・事業	政策目標の達成度合い		今年度はモニタリングのみのため、5段階達成度合いは記載できない	番号	I-9-1
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額	
予算の状況	当初予算（千円）	19,325,312,920	20,051,914,431	20,378,754,817	21,211,837,171	21,519,869,856	
	補正予算（千円）	5,699,850	1,667,640	17,320,689	0		
	繰越し等（千円）	0	-3,667,624	-14,388,385			
	計（千円）	19,331,012,770	20,049,914,447	20,381,687,121	<0>		
執行額（千円）		19,313,996,369	20,028,049,637	20,366,773,475			
政策評価結果の概算要求への反映状況		【見直しの上増額】医療費国庫負担の自然増の関係。安定的な医療保険制度の運営を図るため。					

(注)直近の評価結果が分かる評価書又はそれに準じた評価書を添付すること。

政策評価調書（個別票2）

政策名	データヘルスの推進による保険者機能の強化等により適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること				番号	I-9-1		(千円)					
	予算科目					予算額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計					
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額						
対応表において●となっているもの	● 1	一般	厚生労働本省	医療保険給付諸費	医療保険給付に必要な経費	9,601,083,207	9,878,540,888						
	● 2	一般	厚生労働本省	医療保険給付諸費	医療保険制度の適切な運営に必要な経費	321,527,618	243,591,115						
	● 3	一般	厚生労働本省	医療保険給付諸費	医療保険制度の推進に必要な経費	4,686,747	8,895,686						
	● 3	一般	地方厚生局	保険医療機関等指導監督等実施費	保険医療機関等に対する指導及び監督等に必要な経費	1,129,759	1,373,815						
	● 4	東日本大震災復興特別	復興庁	社会保障等復興政策費	医療保険制度の適切な運営に必要な経費	7,625,654	7,543,107						
	小計					9,936,052,985	10,139,944,611	の内数					
対応表において◆となっているもの	◆ 1	一般	厚生労働本省	健康保険事業借入金諸費年金特別会計へ繰入	健康保険事業借入金諸費の財源の年金特別会計健康勘定へ繰入れに必要な経費	5,911,496	5,862,983						
	◆ 2	年金特別	健康勘定	保険料等交付金	保険料等交付金	9,761,419,036	9,869,146,401						
	◆ 3	年金特別	健康勘定	業務取扱費等業務勘定へ繰入	業務勘定へ繰入	23,313,945	29,280,417						
	◆ 4	年金特別	健康勘定	国債整理基金特別会計へ繰入	国債整理基金特別会計へ繰入	1,485,139,709	1,475,635,444						
	小計					11,275,784,186	11,379,925,245	の内数					
	○ 1					<	>	<					
対応表において○となっているもの	○ 2					<	>	<					
	○ 3					<	>	<					
	○ 4					<	>	<					
	小計					の内数	の内数						
対応表において△となっているもの	△ 1					<	>	<					
	△ 2					<	>	<					
	△ 3					<	>	<					
	△ 4					<	>	<					
	小計					の内数	の内数						
合計						21,211,837,171	21,519,869,856	の内数					
						の内数	の内数						

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		生活習慣病対策等により中長期的な医療費の適正化を図ること					
評価方式		総合・実績・事業	政策目標の達成度合い		今年度はモニタリングのみのため、5段階達成度合いは記載できない	番号	I-9-2
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額	
予算の状況	当初予算（千円）	22,919,367	21,944,632	22,524,281	22,704,673	24,023,744	
	補正予算（千円）	661,893	571,372	-42,941			
	繰越し等（千円）						
	計（千円）	23,581,260	22,516,004	22,481,340	<0>		
執行額（千円）		22,544,026	22,461,111	22,418,161	<0>		
政策評価結果の概算要求への反映状況		高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、生活習慣病予防の観点から内臓脂肪型肥満に着目した特定健診・保健指導の実施を医療保険者に義務付け、中長期的な観点から医療費の適正化を推進している。平成25年度に実施されたモニタリングの実施結果等を踏まえ、予算要求を行っている。					

(注)直近の評価結果が分かる評価書又はそれに準じた評価書を添付すること。

政策評価調書（個別票2）

政策名	生活習慣病対策等により中長期的な医療費の適正化を図ること				番号	I-9-2		(千円)
	予算科目					予算額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額	
対応表において●となっているもの	● 1	一般	厚生労働省	医療費適正化推進費	医療費適正化の推進に必要な経費	22,694,945	24,014,016	
	● 2	東日本大震災復興特別会計	復興庁	社会保障等復興政策費	医療費適正化の推進に必要な経費	9,728	9,728	
	● 3							
	● 4							
小計						22,704,673	24,023,744	
対応表において◆となっているもの	◆ 1							
	◆ 2							
	◆ 3							
	◆ 4							
小計								
対応表において○となっているもの	○ 1					<	>	<
	○ 2					<	>	<
	○ 3					<	>	<
	○ 4					<	>	<
小計								
対応表において◇となっているもの	◇ 1					<	>	<
	◇ 2					<	>	<
	◇ 3					<	>	<
	◇ 4					<	>	<
小計								
合計						22,704,673 の内数	24,023,744 の内数	

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		地域住民の健康の保持・増進及び地域住民が安心して暮らせる地域保健体制の確保を図ること					
評価方式		総合・実績・事業	政策目標の達成度合い		今年度はモニタリングのみのため、5段階達成度合いは記載できない。	番号	I-10-1
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額	
予算の状況	当初予算（千円）	1,882,706 <121,737,080>	1,362,988 <119,179,255>	1,862,364 <120,434,741>	1,809,380 <125,320,098>	2,209,299 <167,755,440>	
	補正予算（千円）	233,280 <22,867,918>	0 <24,948,458>	0 <19,424,613>			
	繰越し等（千円）	-106,272 <-22,008,013>	106,272 <-4,217,313>	0 <3,307,448>			
	計（千円）	2,009,714 <122,596,985>	1,469,260 <139,910,400>	1,862,364 <143,166,802>			
執行額（千円）		1,767,293 <122,192,216>	1,369,747 <139,621,558>	1,783,574 <142,434,945>			
政策評価結果の概算要求への反映状況		保健師未設置又は1人設置市町村は年々解消する傾向にある等、保健師等の専門職の計画的な動員により地域保健従事者の確保が進展していると評価できる。また、研修等により地域保健従事者的人材育成が進んでおり、地域住民の健康の保持、増進及び地域住民が安心して暮らせる保健医療体制の確保が着実に図られていると評価できることから、引き続き地域保健従事者的人材確保及び資質の向上を図るため予算要求をする。					

(注)直近の評価結果が分かる評価書又はそれに準じた評価書を添付すること。

政策評価調書（個別票2）

政策名	地域住民の健康の保持・増進及び地域住民が安心して暮らせる地域保健体制の確保を図ること				番号	I-10-1		(千円)					
	予算科目					予算額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計					
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額						
対応表において●となっているもの	● 1	一般	厚生労働省	地域保健対策費	保健所の地域保健活動の推進等に必要な経費	1,752,768	2,152,521						
	● 2	一般	厚生労働省	地域保健対策費	地域における保健医療体制の確保に必要な経費	56,612	56,778						
	● 3	一般	厚生労働省	保健衛生施設整備費	保健衛生施設等施設整備に必要な経費	< 1,669,000 >	< 1,969,000 >						
	● 4	東日本震災復興	復興庁	社会保障等復興事業費	保健衛生施設等施設整備に必要な経費	< 424,535 >	< 259,323 >						
	小計					1,809,380	2,209,299						
						<2,093,535> の内数	<2,228,323> の内数						
対応表において◆となっているもの	◆ 1												
	◆ 2												
	◆ 3												
	◆ 4												
	小計												
対応表において○となっているもの	○ 1	一般	厚生労働省	生活基盤施設耐震化等対策費	生活基盤施設の耐震化等対策に必要な経費	< 16,900,000 >	< 56,639,764 >						
	○ 2												
	○ 3												
	○ 4												
	小計					<16,900,000> の内数	<56,639,764> の内数						
対応表において△となっているもの	△ 1	一般	厚生労働省	業務取扱費年金特別会計へ繰入	業務取扱費の財源の年金特別会計業務勘定へ繰入れに必要な経費	< 106,326,563 >	< 108,887,353 >						
	△ 2												
	△ 3												
	△ 4												
	小計					<106,326,563> の内数	<108,887,353> の内数						
合計						1,809,380	2,209,299						
						<125,320,098> の内数	<167,755,440> の内数						

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		生活習慣の改善等により健康寿命の延伸等を図ること					
評価方式		総合・実績・事業	政策目標の達成度合い		今年度はモニタリングのみのため、5段階達成度合いは記載できない。	番号	I-10-2
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額	
予算の状況	当初予算（千円）	0 <1,257,668>	0 <11,099,716>	0 <10,918,465>	0 <10,831,666>		0 <13,858,935>
	補正予算（千円）	0 <607,791>	0 <502,667>	0 <0>			
	繰越し等（千円）	0 <3,805,627>	0 <119,503>	0 <488,288>			
	計（千円）	0 <5,671,086>	0 <11,721,886>	0 <11,406,753>			
執行額（千円）		0 <16,683,119>	0 <10,942,430>	0 <10,807,536>			
政策評価結果の概算要求への反映状況		引き続き、生活習慣の改善等により健康寿命の延伸等を図るために必要な予算を要求した。					

(注)直近の評価結果が分かる評価書又はそれに準じた評価書を添付すること。

政策評価調書（個別票2）

政策名	生活習慣の改善等により健康寿命の延伸等を図ること					番号	I-10-2		(千円)
	予算科目					予算額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計	
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額		
対応表において●となっているもの	● 1	一般	地方厚生局	医師等国家試験実施費	医師等国家試験実施に必要な経費	< 700,779 >	< 517,976 >		
	● 2								
	● 3								
	● 4								
	小計					<700,779> の内数	<517,976> の内数		
対応表において◆となっているもの	◆ 1								
	◆ 2								
	◆ 3								
	◆ 4								
	小計								
対応表において○となっているもの	○ 1	一般	厚生労働本省	健康増進対策費	健康増進対策に必要な経費	< 8,682,014 >	< 11,598,669 >		
	○ 2	一般	厚生労働本省	健康増進対策費	健康増進に必要な経費	< 1,448,873 >	< 1,742,290 >		
	○ 3								
	○ 4								
	小計					<10,130,887> の内数	<13,340,959> の内数		
対応表において△となっているもの	△ 1								
	△ 2								
	△ 3								
	△ 4								
	小計								
合計						<10,831,666> の内数	<13,858,935> の内数		

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		総合的ながん対策を推進すること					
評価方式		総合・実績・事業	政策目標の達成度合い		今年度はモニタリングのみのため、5段階達成度合いは記載できない。	番号	I-10-3
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額	
予算の状況	当初予算（千円）	0 <12,171,308>	0 <10,667,705>	0 <10,466,156>	0 <10,130,887>		0 <13,340,959>
	補正予算（千円）	0 <607,791>	0 <502,667>	0 <0>	0 <0>		
	繰越し等（千円）	0 <3,805,627>	0 <119,503>	0 <488,288>			
	計（千円）	0 <16,584,726>	0 <11,289,875>	0 <10,954,444>			
執行額（千円）		0 <16,285,109>	0 <10,512,584>	0 <10,364,688>			
政策評価結果の概算要求への反映状況		引き続き、がんによる死者数の減少を図るために必要な予算を要求した。					

(注)直近の評価結果が分かる評価書又はそれに準じた評価書を添付すること。

政策評価調書（個別票2）

政策名	総合的ながん対策を推進すること					番号	I-10-3		(千円)	
	予算科目					予算額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計		
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額			
対応表において●となっているもの	● 1	一般	厚生労働省	健康増進対策費	健康増進対策に必要な経費	< 8,682,014 >	< 11,598,669 >			
	● 2	一般	厚生労働省	健康増進対策費	健康増進に必要な経費	< 1,448,873 >	< 1,742,290 >			
	● 3									
	● 4									
	小計					<10,130,887> の内数	<13,340,959> の内数			
対応表において◆となっているもの	◆ 1									
	◆ 2									
	◆ 3									
	◆ 4									
	小計									
対応表において○となっているもの	○ 1									
	○ 2									
	○ 3									
	○ 4									
	小計									
対応表において△となっているもの	△ 1									
	△ 2									
	△ 3									
	△ 4									
	小計									
合計						<10,130,887> の内数	<13,340,959> の内数			

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		健康危機が発生した際に迅速かつ適切に対応するための体制を整備すること。					
評価方式		総合(実績・事業)	政策目標の達成度合い		目標達成	番号	I-11-1
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額	
予算の状況	当初予算（千円）	1,126,369	518,294	112,149	109,900		342,455
	補正予算（千円）	88,051					
	繰越し等（千円）						
	計（千円）	1,214,420	518,294	112,149	<0>		
執行額（千円）		1,152,183	460,148	39,282	<0>		
政策評価結果の概算要求への反映状況		<p>国の健康危機管理体制については、着実に整備されてきており、現在取り組んでいる政策を引き続き実施していく。東京オリンピックパラリンピック競技大会に向けては危機管理体制の更なる強化が必要になるため、体制整備のために必要な要求を行っている。地域における健康危機管理体制の確立に向けた健康危機管理を担う保健所長等の人材育成についても着実に進んでおり、引き続き人材育成を進めていくよう要求をしている。</p>					

(注)直近の評価結果が分かる評価書又はそれに準じた評価書を添付すること。

政策評価調書（個別票2）

政策名	健康危機が発生した際に迅速かつ適切に対応するための体制を整備すること。					番号	I-11-1		(千円)
	予算科目					予算額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計	
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額		
対応表において●となっているもの	● 1	一般	厚生労働省	健康危機管理推進費	保健所の地域健康危機管理活動の推進に必要な経費	65,000	65,000		
	● 2	一般	厚生労働省	健康危機管理推進費	健康危機管理の推進に必要な経費	44,900	277,455		
	● 3								
	● 4								
小計						109,900	342,445		
対応表において◆となっているもの	◆ 1								
	◆ 2								
	◆ 3								
	◆ 4								
小計									
対応表において○となっているもの	○ 1					<	>	<	
	○ 2					<	>	<	
	○ 3					<	>	<	
	○ 4					<	>	<	
小計									
対応表において◇となっているもの	◇ 1					<	>	<	
	◇ 2					<	>	<	
	◇ 3					<	>	<	
	◇ 4					<	>	<	
小計									
合計						109,900	342,445		